



GROWTH
TOKYO

2022年8月10日

各位

会社名 ルーデン・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 西岡 孝
(JASDAQ・コード1400)
問合せ先 取締役管理部門管掌兼管理本部長
佐々木 悟
電 話 03-6427-8088

2022年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異および 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月12日に公表した2022年12月期第2四半期累計期間(2022年1月1日~2022年6月30日)の連結業績予想と実績に差異が生じ、また、2022年12月期(2022年1月1日~2022年12月31日)の通期連結業績予想を最近の業績動向等を踏まえ、下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

2022年12月期 連結業績予想の修正等

1. 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異(2022年1月1日~2022年6月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,091	百万円 △29	百万円 △8	百万円 △12	円 銭 △0. 98
実績値(B)	1,088	△21	1	△7	△0. 56
増減額(B-A)	△3	8	9	5	—
増減率(%)	△0.3	—	—	—	—
(参考)前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	1,367	30	32	25	2. 00

2. 通期連結業績予想の修正（2022年1月1日~2022年12月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 2,336	百万円 △20	百万円 1	百万円 △7	円 銭 △0. 61
今回修正（B）	2,339	△18	5	△3	△0. 30
増減額（B－A）	3	2	4	4	—
増減率（％）	0.1	—	400.0	—	—
（参考）前期連結実績 （2021年12月期）	2,527	△308	△309	△459	△35. 69

3. 修正の理由

売上高におきましては、ハウスクエア事業に関しまして、当第2四半期累計期間において、顧客の購買意欲の本格的な持ち直しがみられず、それを補うべく、当社の既存客に対して営業を行いました。当初予想を下回る結果となりました。総合不動産事業においても、予定していた物件の販売が後ずれいたしました。しかし、ビル総合管理事業においては、新規現場の獲得等があり、比較的順調に推移いたしました。その結果、上記のように差異が生じました。そして、今後においても新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、当初の緊急事態宣言下のような状況にはならないと考え、通期業績予想を修正いたしました。

また、利益面におきましては、ハウスクエア事業及び総合不動産事業については、当第2四半期累計期間において売上が想定を下回ったことに伴い利益も予想に届きませんでした。しかし、ビル総合管理事業に関して、人件費及び材料費や求人募集費の高騰に伴う経費増があったものの、売り上げ増に伴う利益の増加があり、上記のような差異が生じました。通期業績予想については、当第2四半期累計期間での利益の増加を考慮するとともに、引き続き販管費等の削減に努めることにより、上記の通り修正することといたしました。

（注）上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上